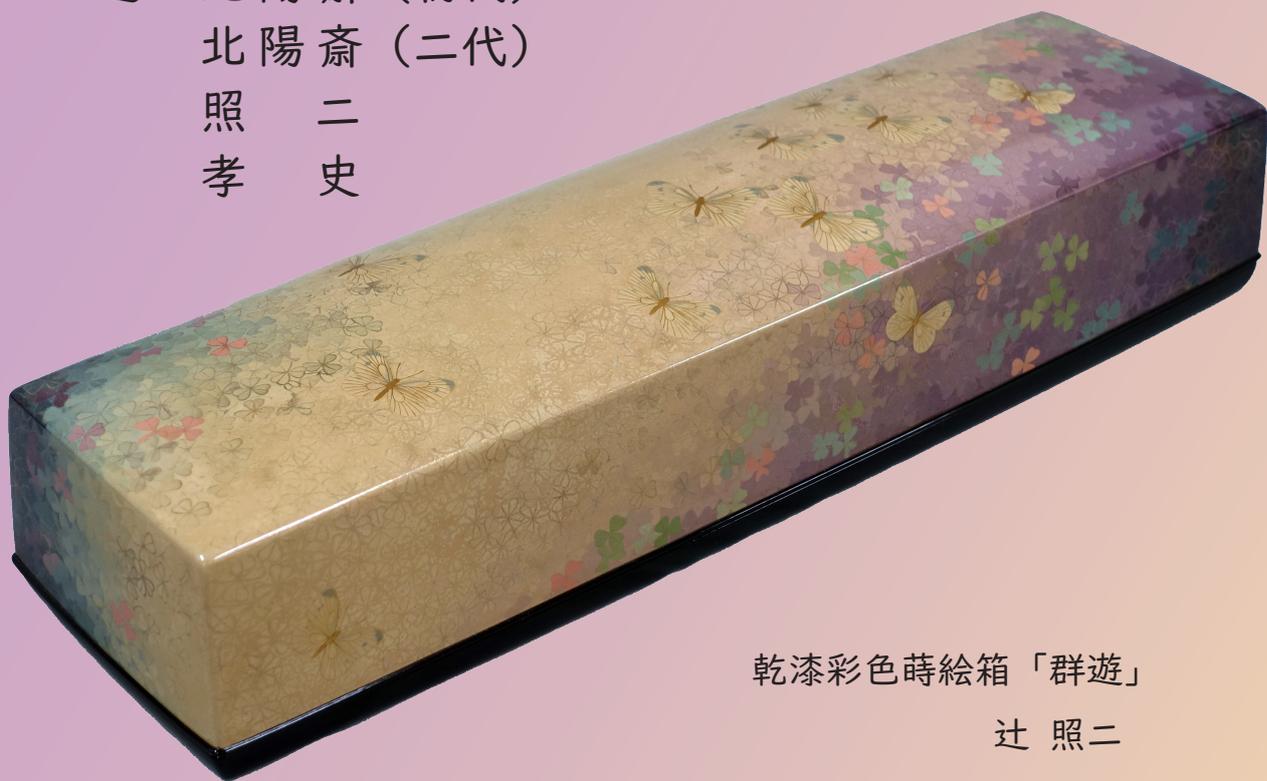


辻家の系譜

初代から四代まで親子漆芸展

辻 北陽斎（初代）
北陽斎（二代）
照 二
孝 史



乾漆彩色蒔絵箱「群遊」

辻 照二

能登にルーツを持つ蒔絵師の家系

優美華麗な香川漆芸と融合し継承される
作品を一堂に展示します。

会期／令和7年1月24日（金）～3月2日（日）会期中無休

会場／香川県文化会館1階香川漆芸ホール（高松市番町一丁目10番39号）

時間／9時～17時 観覧無料

ギャラリートーク 展示会場にて辻孝史による作品解説を行います。申込不要・無料

① 2月1日（土）13時～ ② 2月15日（土）13時～



辻家の系譜 初代から四代まで親子漆芸展 <展示作品一覧表>

会期 令和7年1月24日(金)～3月2日(日)

寄贈作品4点を初展示いたします。

香川に定住した蒔絵師の家系

令和6年元日、未曾有の大地震に見舞われた能登半島。一年が過ぎた今も復興の目処はたっていない。明治末期、その能登の珠洲から縁あって高松に移り住んだ蒔絵師が初代・辻北陽齋(知道)である。ここから漆芸一統の辻家が起こされた。

初代・北陽齋は京都で光琳蒔絵を習得。漆芸王国であり蒔醬・存清・彫漆の聖地である香川でも蒔絵の需要は多く、茶道具・重箱・硯箱・家具・建具・碁盤・琴をはじめとする楽器などに蒔絵を施し、様々な分野で活躍した。

二代 北陽齋(保二)は、初代の蒔絵を忠実に受け継ぐ。戦前は、磯井如真が結成した「工会(たくみかい)」で活躍。戦後は日本伝統工芸展を中心に活動し、香川漆芸の向上と発展に寄与する。

三代目の照二は父 保二に師事。高度経済成長の波に乗って頭角を現し、従来の蒔絵技法に香川漆芸の特徴である彩色を取り入れ、彩色蒔絵と逆さ蒔絵という新しい蒔絵技法を確立した。

四代目となる孝史は、重要無形文化財蒔醬保持者・太田儔氏に師事し、藍胎蒔醬・存清を学ぶ。現在、香川県漆芸研究所にて後進の指導の傍ら、蒔絵と存清の融合を目指した作品の制作に取り組んでいる。

4人の作品は、それぞれに特徴があり、香川の地で育まれた独自の世界観を感じ取ることが出来る。

用語解説

蒔絵(まきえ)・・・漆工芸の代表的な加飾技法。漆塗面に漆で文様を描き、その漆が固まらないうちに金銀粉を蒔き付け、さらに漆で固め研磨し仕上げる。蒔いて絵にするという意からつけられた名称である。

彩色蒔絵(さいしきまきえ)・・・蒔絵の地塗りも粉固めも全て彩色で行う蒔絵の名称。研ぎ出すのが難しい。

逆さ蒔絵(さかさまきえ)・・・乾漆の石膏原型に蒔絵を描き、塗り重ね下地を施し麻布を貼り合わせ成形を行い、のちに石膏を外し研ぐと箱の内側に蒔絵が現れる、逆手順による高度な蒔絵。

同時開催 人間国宝作品 特別展示

- 磯井正美 『蒔醬おきなぐさ合子』
- 太田 儔 『藍胎蒔醬箱「風薫る頃」』

香川県漆芸研究所

〒760-0017 香川県高松市番町一丁目10番39号
TEL : 087-831-1814 FAX : 087-831-1807
E-mail : shitsugei@pref.kagawa.lg.jp
<https://www.pref.kagawa.lg.jp/sitsugei/>



※当館に駐車場はありませんので、近くの公共・民間駐車場をご利用ください。

初代 辻 北陽齋 作品(2点)

こきょうそうかけじく 故郷想掛軸	*1	たけつくりこうろ 竹作香爐	*1
---------------------	----	------------------	----

二代 辻 北陽齋 作品(11点)

かんしつまきえぼこ「ばくしゅう」 乾漆蒔絵箱「麦秋」	*2	かんしつまきえじきろう「しおさい」 乾漆蒔絵喰籠「潮騒」	*1
まきえきくもんこぼこ 蒔絵菊文小箱	*1	まきえぼこ「ほたるいか」 蒔絵箱「ほたる鳥賊」	*1
かんしつまきえうずしおこうぼん 乾漆蒔絵うず潮香盆	*1	あきかぜまきえかざりぼん 秋風蒔絵飾盆	*1
かんしつまきえみずさし「はるかぜ」 乾漆蒔絵水指「春風」	*1	かんしつまきえちやいれ「つばめ」 乾漆蒔絵茶入「燕」	*1
まきえちやいれ「ほうおう」 蒔絵茶入「鳳凰」	*1	まきえこうごう「しゃも」 蒔絵香合「軍鶏」	*1
まきえこうごう「ほうおう」 蒔絵香合「鳳凰」	*1		

辻 照二 作品(13点)

かんしつさいしきまきえぼこ「ぐんゆう」◎ 乾漆彩色蒔絵箱「群遊」(逆さ蒔絵)	*2	かんしつさいしきまきえぼこ「あけぼの」◎ 乾漆彩色蒔絵箱「曙」(逆さ蒔絵)	*2
かんしつさいしきまきえぼこ「ふうきか」◎ 乾漆彩色蒔絵箱「富貴花」(逆さ蒔絵)	*2	かんしつまきえじくぼこ 乾漆蒔絵軸箱(逆さ蒔絵)	*2
まきえしきしばこ「こうさい」 蒔絵色紙箱「光彩」	*1	きんたいまきえみずさし 金胎蒔絵水指	*1
かんしつさいしきまきえたんざくぼこ「しゅうさい」 乾漆彩色蒔絵短冊箱「秋彩」	*1	かんしつさいしきまきえこぼこ 乾漆彩色蒔絵小箱	*1
さいしきまきえしつがく「ぶどうとちょう」 彩色蒔絵漆額「葡萄と蝶」	*1	まきえこうごう「かに」 蒔絵香合「蟹」	*1
まきえちやいれ「さんきらい」 蒔絵茶入「山归来」	*1	まきえちやいれ「まつ」 蒔絵茶入「松」	*1
まきえちやいれ「かに」 蒔絵茶入「蟹」	*1		

辻 孝史 作品(12点)

らんたいぞんせいもりき「さふらん」 藍胎存清盛器「サフラン」	*1	かんしつぞんせいみずさし「せとのかぜ」 乾漆存清水指「瀬戸の風」	*1
かんしつきんまてぼこ「あおむぎのころ」 乾漆蒔醬手箱「青麦の頃」	*1	あじろまきえたかつき「みのりのとき」 網代蒔絵高坏「実りの時」	*1
らんたいまきえもりき「みずべ」 藍胎蒔絵盛器「水辺」	*1	らんたいぞんせいもりき「はる」 藍胎存清盛器「春」	*1
らんたいぞんせいじきろう「さんか」 藍胎存清食籠「讃歌」	*1	ぞんせいしつがく 存清漆額	*1
まきえうでわ「おりーぶ」 蒔絵腕輪「オリーブ」	*1	まきえてかがみ「おりーぶ」 蒔絵手鏡「オリーブ」	*1
まきえぼーるべん「おりーぶ」 蒔絵ボールペン「オリーブ」	*1	まきえかみどめ「まーがれっと」 蒔絵髪留「マーガレット」	*1

所蔵 *1個人蔵

*2香川県漆芸研究所蔵 ◎初展示

写真撮影OK

